

生物科学学会連合 第23回定例会議 議事録(案)

日時：2021年5月27日(木) 16:00~18:00

場所：オンラインによる開催

出欠状況：

出席(加盟団体)： *印は兼任または重複出席者を示す。

運営委員(副代表ならびに運営委員は候補者)

小林 武彦* (生科連 2021-2022 代表)

井関 祥子(生科連副代表) 松永 幸大(生科連副代表) 中野 明彦 片山 豪*

団体代表

宮下 直* (個体群生態学会)	佐藤 均 (染色体学会)
木庭 卓人 (染色体学会)	東原 和成 (日本味と匂学会)
菱田 卓 (日本遺伝学会)	二川 健 (日本宇宙生物科学学会)
寺田 純雄 (日本解剖学会)	大杉 美穂 (日本細胞生物学会)
上田 泰己 (日本時間生物学会)	三好 一郎 (日本実験動物学会)
石田健一郎 (日本植物学会)	峰雪 芳宣 (日本植物形態学会)
藤田 祐一 (日本植物生理学会)	前島 正義 (日本植物生理学会)
古賀 皓之 (日本進化学会)	宮田麻理子 (日本神経科学学会)
坂上 和弘 (日本人類学会)	横溝 岳彦 (日本生化学会)
宮下 直* (日本生態学会)	片山 豪* (日本生物教育学会)
須藤 雄気 (日本生物物理学会)	村田 武士 (日本生物物理学会)
南沢 享 (日本生理学会)	津本 浩平 (日本蛋白質科学学会)
稲葉 一男 (日本動物学会)	丹羽 隆介 (日本発生生物学会)
永田 崇 (日本比較生理生化学会)	兵藤 晋 (日本比較内分泌学会)
神田 真司 (日本比較内分泌学会)	木村 宏 (日本分子生物学会)
塚越 哲 (日本分類学会連合)	大村 嘉人 (日本分類学会連合)
竹内 理 (日本免疫学会)	安西 尚彦 (日本薬理学会)

(計 29 団体)

欠席(加盟団体)：日本神経化学会、日本農芸化学会、日本微生物生態学会

(3 団体)

(加盟合計 32 団体)

出席：藤田 祐樹(自然史学会連合)

後藤由季子(会計監査委員)

宮下 直*(会計監査委員)

北島 薫(日本学術会議統合生物学委員会委員長)

松田 道行(日本学術会議基礎医学委員会委員長)

小林 武彦*(日本学術会議基礎生物学委員会委員長)

辻 省次(日本医学会)

道上 達男(JBO 運営委員長)

岸本 健雄(国立沖縄自然史博物館設立準備委員会)

(敬称略、加盟団体名 50 音順)

事務局 村田 英樹

議題・報告：

1. 代表挨拶

小林代表より、第 23 回定例会議開催に当たり挨拶が述べられた。

2. 前回議事録の承認

第 22 回定例会議議事録（案）が確認され、原案通り承認された。

3. 副代表ならびに運営委員の選任について

小林代表より、資料に基づき令和 3～4 年度の副代表として井関祥子氏（留任）、松永幸大氏（留任）、運営委員として中野明彦氏（留任）、片山豪氏（留任）、後藤由季子氏（新任）が提案され、異議なく承認された。引き続き、新任の後藤氏より挨拶が述べられた。

4. 会計監査委員の選任について

小林代表より、資料に基づき令和 3～4 年度の会計監査委員として宮下直氏（留任）、大杉美穂氏（新任）が提案され、異議なく承認された。引き続き、新任の大杉氏より挨拶が述べられた。

5. 令和 2 年度事業報告について

小林代表より、資料に基づき令和 2 年度事業について、運営委員会、定例会議、シンポジウム、第 2 回高校生“つぶやき”フォトコンテストの開催、その他各種委員会などの活動の報告がなされた。

引き続き片山生物教育・大学入試問題検討委員会委員長より、資料に基づき大学入試試験「生物基礎」及び「生物」における用語の扱いに関する調査報告について補足説明がなされ、この調査結果は今後生物教育・大学入試問題検討委員会にて考察を加えたうえで、公開予定である旨報告がなされた。

審議の結果、令和 2 年度事業報告は異議なく承認された。

6. 令和 2 年度会計報告について

事務局より、資料に基づき令和 2 年度会計状況について報告がなされた。このうち定例会議がすべてオンラインで開催されたため会合費支出がなかった他は、ほぼ予算額通りの収支となった旨説明がなされた。

審議の結果、令和 2 年度会計報告は異議なく承認された。

7. 令和 3 年度事業計画について

小林代表より、資料に基づき令和 3 年度事業計画について、研究費・人材育成委員会においては加盟団体へのアンケート調査に基づく関係省庁への意見書・要望書の提出、生物教育・大学入試問題検討委員会においては入試問題に関する調査の継続、情報の共有、意見の発信、地球生物プロジェクト委員会においては第 3 回高校生 生きもの“つぶやき”フォトコンテストの開催、その他シンポジウムの開催などを計画している旨の説明がなされた。

審議の結果、令和 3 年度事業計画は異議なく承認された。

8. 令和 3 年度予算について

事務局より、資料に基づき令和 3 年度予算案について、加盟団体の増加に伴う収入増の他は令和 2 年度予算と同規模で編成したとの説明がなされた。

審議の結果、令和 3 年度収支予算案は異議なく承認された。

9. 入会申込みについて

小林代表より、資料に基づき新たに入会申込がなされた日本組織細胞化学会ならびに日本バ

イオインフォマティクス学会の概要について説明がなされた。

審議の結果、これら二つの団体の入会が承認され、次回定例会議より参加することが確認された。

10. 生科連からの推薦要件の規定について

小林代表より、資料に基づき生科連より発出する賛同書や意見書などのサポートレターに関して、基本的な申し合わせの内容が以下の通り提案された。

1. 加盟学会からの推薦があること
 2. 参考資料を提出し必要に応じてプレゼンを依頼すること
 3. 申請内容にはコミュニティへのフィードバックが記述されていること
 4. 生科連での審議時間が2週間以上確保されていること
 5. 対面、メール審議ともに、加盟学会のうち2/3以上の賛成が得られること
 6. サポートレターに注釈をつけてそれぞれの学会の意向を明確化すること
- これらについて意見交換がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

11. 関連国際会議について

小林代表より、時節柄現状では特段報告できる情報はないとの説明がなされた。

12. IBO・JBO（生物学オリンピック）について

道上達男国際生物学オリンピック日本委員会運営委員長より、2021年の国際生物学オリンピックはポルトガルにてオンライン開催予定、日本生物学オリンピックの予選、本選もオンラインで開催予定あるとの報告がなされた。

13. 日本学術会議関連報告

小林代表より、日本学術会議の会員任命拒否問題に関連して、現在、学術会議の設置形態や運営方法などの改革案について検討中であり、検討結果は学術会議の総会で審議予定であるとの報告がなされた。

また、定例会議に出席した北島薫統合生物学委員会委員長ならびに松田道行基礎医学委員会委員長より、それぞれ挨拶と現状の報告が述べられた。

14. 国立沖縄自然史博物館の設立活動について

岸本健雄国立沖縄自然史博物館設立準備委員会代表理事より、資料に基づき国立沖縄自然史博物館の設立に向けた取り組みについて、沖縄県の自然環境の保全再生支援・促進制度に基づく提言の状況などの報告がなされ、引き続き加盟団体への協力依頼がなされた。

15. その他

(1) 後藤由季子氏より、雑誌問題に関連して研究評価に関するサンフランシスコ宣言(DORA)の取り組みについて紹介がなされた。

(2) 小林代表より、研究費・人材育成委員会、生物教育・大学入試問題検討委員会、地球生物プロジェクト委員会のそれぞれの委員割り振りについて、各加盟団体からの希望通りになるよう調整中であるとの報告がなされた。

(3) 小林代表より、生科連宛に筑波大学および東京大学の学生有志からLGBT理解増進法案と生物学に関しての議員の発言に端を発した問題について、生科連より誤解を解くための声明発出依頼があった旨報告がなされた。

意見交換がなされた結果、当該議員の発言は公的なものでないことから生科連として声明の発出は行わず、依頼者に対しては、声明は発出しないが理解を示す内容の返答をすることが確認された。

以上